

平成29年度 第2学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・話を最後まで聞かず、大事なことを聞きもらすことがあり、すばやく課題に取り組めない。 ・漢字の習得率が低い。 ・作文では助詞の使い方やに間違いがあり、句読点の打ち方が正しくできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く姿勢を身につけ、聞くときの視点を意識させ、学習規律を身に付けさせる。 ・漢字は意味をとらえられるようにする。 ・作文の決まり事を確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科、全領域で学習規律を指導していく。 ・新出漢字の指導では成り立ちや意味をしっかりと指導する。毎日漢字の練習を課題にする。また、東京ベーシックドリルの活用も図る。 ・文章を書く機会を増やす。読書指導をしていく。
	話す・聞く能力			
書く能力				
読む能力				
言語についての知識・理解・技能				
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を活用する力を養う。 ・物語文から登場人物の気持ちを読み解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きテストを数多く実施する。 ・場面の様子を書き込ませていく。また書き込みを発表する。 	
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の意味がわからなくてとけない。 ・1年生の既習の計算が速く、正確にできない。 ・長さやかさの量感が身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に絵や図を使って説明していく。 ・計算は繰り返し練習していく。 ・日常生活で使うもので量感を養っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いていることは何かを考えさせて、絵や図、タイトル図に表すようにする。 ・東京ベーシックドリルを活用し、計算練習を随時やっていく。 ・加法や減法の問題に取り組ませることにより、理解を深める。
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から問題の意味を読み取る力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の意味を理解させるために、問題づくり、お話づくりなどの活動を多く取り入れる。 	
生活	生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は進んで行うが、観察したりまとめたりすることができない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察する時の視点を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習を活かしながら、観察文の書き方や書く内容のポイントを明確にしていく。
	活動や体験についての思考・表現			
	身近な環境や自分についての気付き			
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・声の出し方を考えないで歌ってしまう児童がいる。 ・2拍子、3拍子を体で表現できているが、音楽や歌に合わせて2拍子、3拍子を自分で判断し、叩くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の高さの違いを感じ取り、高い声の出し方を工夫できるように指導する。 ・拍感を身に付け、音楽に合わせて歌ったり演奏したりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の歌の手本を聴いて、それを模倣することを通して、歌声を身に付けて歌えるようにする。 ・拍を感じさせる活動の際には、一人だけでなく、ペアやグループになって行う。更に、身体表現を多く取り入れることで、拍の感覚を体で感じさせるようにする。
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみがうまく扱えず、上手に切ることができない児童が多い。 ・丁寧に色塗りができず、作品の完成度が上がらない。 ・鑑賞を通して、作品の良さや表現の工夫を感じ取ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な直線・波線・ギザギザ線が上手に切れるよう、指導を工夫する。 ・細かなところまで丁寧に色付けできるよう、指導を工夫する。 ・作品の「見るポイント」を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、教師の手元をしっかりと確認させる。授業にいろいろな線を切る題材を設定し、作品が早く仕上がった児童に、合問題材としてはさみの練習課題を与えることで、はさみの扱いに慣れさせる。 ・絵の具やクレヨンなど、実演を交えて一緒に塗り進める。 ・友達同士の鑑賞の時間を設け、特に友達の作品の「よいところ・気に入ったところ」を言葉にしてまとめるよう指導する。
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びでの動きが大きく、細かい動きが苦手である。特に投げる運動が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の時間の運動量の確保をしていく。 ・コーディネーショントレーニングを活用し、体の基本的な動きを習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれがスモールステップで技能を伸ばせるように、場の設定、動きのポイントの提示、学習カード等を工夫する。
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			